

号外版



大人の絵本のすゝめ

前号で紹介した「かくれてしまえばいいのです」（詳細はHPバックナンバーから）。絵本作家のヨシタケシンスケさんの絵本は、こどもだけでなく、大人の心にも届きます。代表作に「りんごかもしれない」がありますが、大人向けのおすすめは「あつかったらぬげばいい」です。自分の考え方、生き方について、はっとさせられました。その他にもいろいろな絵本があるので、気になる方は「大人のための絵本」で検索してみてください。

勝手におすすめ

「あつかったらぬげばいい」

ヨシタケシンスケ 著



「ちいさなあなたへ」

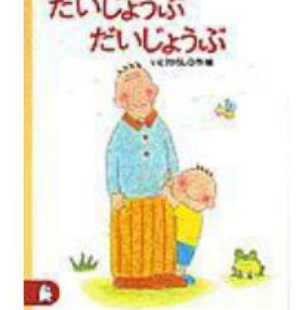
ぶん アリスン・マギー え ピーター・レイノルズ

やく なかがわ ちひろ



「だいじょうぶ だいじょうぶ」

いとう ひろし 作・絵



ちなみに、各園・施設の本は、大人にも貸し出し可能です。ぜひ読んでみませんか。

なかよしキャンプこぼれ話…

エピソード1 「誰のせいでもない…」

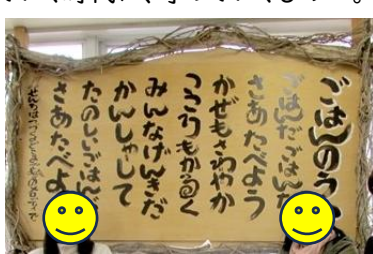
7年前のなかよしキャンプでも、船上山へ行きました。その時も午後から天気が崩れたのですが、今回も野外炊飯時に、いわゆる“ゲリラ豪雨”に見舞われ、野外炊飯場から出られないほどに。大山の裏側（北側）に位置するので、天気が崩れやすいのです。“雨男”がいたのではという噂も…。

エピソード2 「涙涙」

課題や試練がある中で、2泊3日をとともにすると、自然と仲間意識が芽生えます。それはボランティアさんも一緒です。こどもたちのパワーに圧倒され、どう関わればいいのかよくわからず右往左往していたのが、日を追うごとにこどもたちに向き合うことができるようになってきました。別れの時に、こどもたちから抱きつかれ、ボランティアさんの目に涙が…。こどもたちも涙…。こちら胸が熱くなりました。

エピソード3 「復活!ごはんのうた」

昔から岡山こども協会の園外宿泊活動では、食事の際に、「ごはんのうた」を歌っていました。最近、歌わなくなっていたのですが、船上山少年自然の家の食堂に、掲示されているのを発見。コツは、合いの手で「ポッポー」を入れることです。ある子は、「オレ、まだ覚えてないんよな～」と、ごはん前に歌詞を見に来ていました。変わっていく時代に、守っていくもの…。



次号のトピック（予告なく変更する場合有）

●そら組キャンプ報告 他

【編集後記】

前号の紙面に入りきらなかったちょこっとネタを号外版に。軽い気持ちで読んでもらえたらうれしいです。

バックナンバー（「情報公開」の欄に掲載しています）

<https://okayamakodomoikyokai.jp/overview>